

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	進行肺癌医療費の変遷の検討
研究責任者	日本赤十字社医療センター呼吸器内科 出雲 雄大
研究機関名	日本赤十字社医療センター呼吸器内科
研究目的と意義	<p>1. 研究の背景・意義</p> <p>1.1 肺癌治療の医療費 本邦における医療費は増加の一途を辿っています。特に進行肺癌では高額な化学療法や免疫療法がガイドラインで推奨されているため、医療費の高騰が予想されますが、本邦の実臨床での肺癌治療コストを算出し、解析した報告はみられません。</p> <p>1.2 がん終末期治療の医療費 ガイドラインでは終末期がん患者さんに対する積極的な治療は推奨されていません。限られた医療資源と医療費削減を考慮し、終末期がん患者さんに対する積極的な治療には検討の余地があると考えられています。</p> <p>2. 目的 当院でがん登録された進行肺癌の患者さんの、治療開始後1年間ならびに死亡前3か月間の医療費を算出し、リアルワールドにおける進行肺癌の医療費を比較、検討することを目的としました。</p>
研究方法	<p>●対象となる患者さん： 2008年1月1日から2018年12月31日までの期間、当院でがん登録された進行肺癌の患者さん</p> <p>●研究に使用する試料： (1)診療録 (2)DPCデータ（会計に関するデータ）</p> <p>●研究方法 診療録とDPCデータから必要な情報を集め、データベースを構築します。 この方法は後ろ向き観察研究という方法で、新たに患者さんへ負担はかかりません。匿名化といって個人名を消去し、代わりに番号などを付与して処理を行うことで、誰のデータか分からないようにして、統計解析を行います。その結果は、腫瘍学に関する学会や医学雑誌に公表されることがあります。 研究に組み入れられることを希望されない方は、担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。希望されない場合でも、患者さんに不利益になることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター呼吸器内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：栗野暢康、出雲雄大 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>